

「ふるさと春日井学」研究フォーラム

Forum for Furusato Kasugai Studies

「ふるさと春日井」まちづくりへの応援メッセージ

『ふるさと意識なくして地域の活性化なし』

会報

NO. 42

2016. 7. 25 発行

編集責任：河地 清

Kawachi-k@mb.ccnw.ne.jp

第42回「ふるさと春日井学」研究フォーラム

テーマ 『町内会で地域活性化』

～六軒屋町内会連合会の取り組み実践報告～

平成28年7月3日(日) 市民活動支援センター(ささえ愛センター)において「ふるさと春日井学」研究フォーラムをテーマ『町内会で地域活性化～六軒屋町内会連合会の取り組み実践報告～』で開催しました。前田幸一氏(六軒屋地区社会福祉協議会)

は、六軒屋地域の各町内会を連合会としてまとめられる活動をされてこられました。地域の歴史や住民意識が一つの絆で結束をしてきた過程を報告されました。今日、どの地域の町内会も参加率が低下傾向にある中、これからの町内会のありかたや運営の方法などについての実践報告は成功モデルとして参考になる講演でした。連合会立ち上げの過程では、本会40回フォーラム「地域活性化と町内会の役割」で講演していただいた中田 實氏(名古屋大学名誉教授、東海自治体問題研究会副理事長)の指導も受けたとも述べられました。

市民23名の参加がありました。講演後、各地域の参加者からの質問・意見が多く出され熱気あるフォーラムとなりました。



前田 幸一氏 (講演風景)



会場風景

－発表要旨－

「町内会で地域活性化～六軒屋町内会連合会の取り組み実践報告」と題して、前田幸一氏(六軒屋地区社会福祉協議会会長)より報告いただいた。前田氏は平成 23 年度には六軒屋町内連合会会長、平成 25 年度には六軒屋コミュニティー推進協議会会長を務められ、平成 24 年度から引き続いて六軒屋地区社会福祉協議会会長を務められている。今回見せていただいたスライドは町内会長の任期が 1 年のため、年間行事等をパワーポイントで作成し、新しい役員たちに仕事の引き継ぎをしたもの。それを今回見せていただいた。

I.六軒屋町の位置と主な行事实施場所

大泉寺町は春日井市のほぼ中央にある。六軒屋 1～7 丁目、六軒屋西 1～3 丁目、六軒屋町を合わせて 2,479 戸、5,953 人(2016.4.1 現在)と大きな地域である。昭和 51 年から連合会組織を発足させ 41 年目になる。主な行事实施場所は、ほぼ中央部、六軒屋町 4 丁目の六軒屋公民館と隣の六軒屋公園を使っている。

注)六軒屋地域の住民の年齢構成は、15 歳未満 769 人(12.9%)、15-64 歳 3,524 人(59.2%)、65 歳以上 1,660 人(27.9%)。注)町内会連合会の加入率は 6 割台。平成 20 年は 68.4%で年々低下。1 軒で 2 氏名の居住をどうするかなど加入率の捉え方に問題ありとの指摘もある。

II.六軒屋町内連合会の組織

下表にまとめたが、スライドの表をなんとかメモした。広報でホームページもつくり始めた。

顧問 相談役 参与 相談会 市会議員	常任委員会 (4 役) 会長・副会長 事務局・会計		連合会の構成 六軒屋 1～7 丁目、六軒屋西 1～3 丁目、六軒屋町の各町内会 六軒屋コミュニティー推進協議会 (芸能保存会・松原中学校区体育振興会・地区山車曳会)・ 六軒屋地区社会福祉協議会 町内会学び舎・長寿会・子ども会育成会・むつみ会・ 生地川ふれあい会・木遣保存会・六友会・町内自治消防団
	監査	広報	

III.町内連合会主体行事



パワーポイントのスライドでわかりやすく紹介された。

①春の防災訓練・地震体験から始まる。天ぷら火災の消化訓練で消火器の取り扱い実演。さらに自治消防団による放水訓練も行われる。

②冬の防災訓練では、公民館に合宿して避難所暮らしの体験。AET(対外式除細動器)の取り扱い実習も行う。③～⑧春日井市がコミュニティ協議会を作れば 10 万円の予算をつけるというので、高蔵寺に倣って行事を組んでいる。上の表内の 3 つの会が共催する形ですべて準備を

する。心得があるので楽しく行っている。③グランドゴルフ大会④カローリング大会は三世代の交流の場を目的に、子どもに人気がある。⑤納涼まつりは参加者が急増し、昨年は 2 日間で延べ 2 千人の参加があった。⑥運動会は小学校のグラウンド(東野町に 2 校ある)をやめて、六軒屋公園で行っている。玉入れ合戦、こども盆踊りコンテスト、ボール運び競争、金魚すくい(今年はポップコーンすくい)、ハラハラドキドキリレー、輪投げ、綱引き、町内ブロック対抗など高齢化とあって、10 数年前からは公園でこじんまりと行っている。他に生ビールやかき氷販売もナフコ東野店の協力で行う。ただ、子ども会のない地区もあり、綱引きや大縄跳びの対抗戦にでられない現実もある。⑦ウォーキング大会はふれあい緑道を朝宮公園まで⑧新春あれあいコンサートは二部構成で一部クラシック、二部はワインを飲みながらのジャズコンサート⑨三ツ又ふれあい公園ハス池は土が悪く掃除を続けている。大賀ハス(古代縄文ハス)はこの地区の誇りである。⑩生地川清掃活動(堤防はふれあい緑道になっている)など多彩な活動を紹介していただいた。

IV.六軒屋生涯学習塾の活動

公民館を利用して①絵はがき教室②生け花教室③囲碁・将棋教室④歌声サロン⑤健康体操教室⑥卓球クラブ⑦太極拳同好会などが有料会場で行われている。

V.六軒屋町の防犯・防災活動

安全で安心して暮らせるまちづくりのための活動である。①年末の夜警は昨年は 12 月 28-30 日に実施した。

②危険箇所を探して「くらがり診断」をし、六軒屋独自に防犯啓発ポスターを作った。③防犯パトロールを行う。

VI.六軒屋地区社会福祉協議会の活動と課題

新年度から会長及び活動を独立させた。今後の活動に①町内活動の支援②高齢者や身体障害者支援③独居老人の支援をすることにした。大規模災害への備えのマニュアルを作った。地震・風水害対策も含むものだ。防災ネットワークを構築する。今年の 8 月上旬に宿泊避難訓練を実施する。「安全・安心なまちづくり」をめざす。

VII.難問解決の事例を 2 つ紹介する

(1)自転車通学者(特に女子高生)への体当たり事件 … 4 月に桃山から春日井駅に向う自転車に乗った女子高生にわざと体当たりし、金を要求する事件が起った。警察に連絡し、パトロールをした。こういう事案は現行犯逮捕が原則。100 メートル程の間を、5~10 メートルおきに立った。犯人は近くまで来ていて様子をうかがっていた。ほぼ 3 ヶ月続けたら現れなくなった。「町内の力」で解決し実績をつくった。あとで聞いたが、犯人は町内の人間だった。

(2)強盗事件・空き巣泥棒多発後の防犯パトロールの実施 … 5 月のゴールデンウィークのある日に町内の社長宅に強盗が入った。財布とお金が取られた。5 丁目町内会は最初 1 人でパトロールした。その社長も加わり、拍子木を打ち鳴らした見回りだった。その後、連合会役員会で話し合い、そこでは盗難にあった、空き巣にあったという話がでた。そこで町

内全域でパトロールすることになった。全域一斉よりも町内ごとにした方が効果あると、二人の組を作って、チョッキを着、拍子木を打ち鳴らしてパトロールすることになった。現在も続いている。

VIII. 町内ソング(マイタウンソング)で町内結束

2つの歌が町内結束のシンボルになっている。(1)「六軒屋の仲間たち」(作曲・作詞浜田一馬 編曲 位田勉) … 緑をそよがせている さわやかな風が 運んでくれる ふれあいという贈り物 心に感じているでしょう 勇気をもっていえるでしょう 愛と友情にささえられ 歌おう手を取り 六軒屋の仲間たち (二番略) (2)春日井六軒屋盆唄(作詞・作曲 同上)歌詞略。(1)を前田幸一氏自身が歌われ、(2)はテープを流された。マイタウンソングのある素敵なまちづくりで、参加者一同聞き惚れた。講演後の質問など多く出され盛況であった。(記録:塚田 忠雄)

OPINION

『ふるさと春日井「まちづくり」の風景』

— 「ふるさと意識」と「地域活性化」を考える —

本会は、「地域活性化」を「ふるさと意識なくして地域活性化なし」とワンフレーズで表現しています。ですから、常に「ふるさと意識」とは何か。「地域活性化」とは何か。が明確化されていなければなりません。今日これらの語義に普遍的、法則的「定義」というものは確たるものは定まっていらないといえます。「まちづくり」という表現で包括的に論じたり、実践したりしているのが今日的状況ではないでしょうか。それは、経済を中心とした技術的、戦略的、政策論的な議論しかしてこなかったことにもよります。もっと本質的なところに視点を置いて考えてゆく事が重要ではないかと思えます。

そもそも「地域」とはどのような概念なのかがはっきりしなければなりません。「地域」のとらえ方は、視点、観点によって一様ではありません。コミュニティとして「地域」をとらえることもできます。地理的なエリアとしてとらえるとらえかたもあります。歴史、自然、気候の範疇でとらえるとらえかたもあります。言葉の表現としてはローカルといたり、リージョナルといたりします。学術的には、「地域研究」(リージョナルスタディー、エリアスタディー)といています。お気づきのように、これらの言葉の中にはその地域で地を這うようにして生活している人間の「想い」「愛着」「誇り」「アイデンティティー」を感じさせる表現や臭いを見つけることができません。論理的ではあるが無機質です。体温のある人間の内面からほとぼしり出るエートスを感じることができません。「地域研究」は論理よりもその地域に生活する人達の精神的内面と向き合い近づいて行くことではないかと思えます。

私たちが「地域」という語義を何故あえて「ふるさと＝FURUSATO」という言葉の表現で用いるのかと言えば、その語句の中には、人間の生活を感じさせてくれるものがあるからです。人間社会の源を感じさせてくれるものがあるからです。個々の人間の生業を表現してくれるものがあるからです。人間の喜怒哀楽や、家族、友垣、地域社会との絆を感じさせてくれるものがあるからです。「ふるさと」という言葉の表現の中には、個々の人間の生活そのものが詰まった言葉として最も身近で親しみのある言葉だと思えます。理論的で法則的な言葉よりも、実践的で身近な言葉の方が現実的で説得力に富みます。日々悪戦苦闘して生活している個々の人間にとってはとりわけ身近で存在感のある言葉として受け止めることができるのではないのでしょうか。その意味において、「地域活性化」は、単にビジネスモデルや経済モデルの完遂にばかり眼を奪われてしまう従来の硬直化した発想からそろそろ脱却して個々の人間の精神的内面からわきでてくる文化、歴史、芸術、伝統、自然が経済的効果を創り出すといった時代に歴史の転換点がきているのではないかとも思われます。その地域の人々を育み、培われてきた風土・環境を基盤としてその中で長い間かかって醸成されてきた意識を再び蘇らせることが今望まれているのではないのでしょうか。それが「ふるさと」の再生であり、「ふるさと」の再発見ということが言われる所以だと思えます。

「ふるさと創生」（1988～89年）「地方創生」（2015～）「クールジャパン」「文化芸術創造都市」などのキャッチフレーズが並ぶのは、社会の変化とともに意識の変化を現す現象の一端と言えるでしょう。

しかし、どんなに言葉が変わっても、ロゴやキャッチフレーズがかわっても、本質的な意識の変化がなければそれは、過去の繰り返しであり、従来の硬直化したモデルの焼き直しを繰り返すことに他ならないのです。意識の変化は従来の価値観の変化であり、新しい価値観の創造でなければならないのです。

「意識が変われば行動が変わる」は人間行動論の本質です。

「ふるさと意識」の醸成は、地域に生活している人達が生活の場に「愛着」「誇り」「アイデンティティー」を持つことを創りだして行く実践です。それは、自らの生活の場を「知る」ということに繋がります。学校教育、家庭教育、社会教育（生涯学習）企業教育などさまざまな場所機会が活用されなければなりませんし、そうした「ふるさと意識」醸成の仕組みが産学官民の協働で作られれば、自ずと地域の人達は「何をすればよいか」「何が問題か」「何とかしなければ」という意識をもって実践してゆくはずで

「地域再生」「地域活性化」の取り組み実践が行われるためには、その地域に生活する当事者の意識の中に所謂「ふるさと意識」がどれ程存在しているかが鍵を握っています。地域の人々が自発的に「こうしたい」「何とかしなければ」という答えがなければ、やる気も、モチベーションも、実践も軌道には乗りません。もちろん、実践の持続性も保証されません。つまり、「地域活性化」の実践は、あれこれと条件、要件が整うのを待って行くことよりもまず始めるという「意識」ある人達による「意志」が重要であるということが言えます。

（文責：河地 清）

次回

第44回

「ふるさと春日井学」研究フォーラムの ご案内

「ふるさと春日井」の魅力を再発見するFORUM

「ふるさと意識なくして地域の活性化なし」

「地域活性化・まちづくりの応援メッセージ」

Forum for Furusato Kasugai Studies

Forum テーマ：

『ふるさと春日井の自然』

—春日井の大木・名木—

日時：平成28年9月4日（日）午後1時30分～3時30分

場所：市民活動支援センター（ささえ愛センター）八幡小学校西側

TEL：0568-56-1943（〒486-0837 春日井市春見町3番地）

講師：波多野 茂 氏（春日井自然友の会 顧問）

フォーラム内容：春日井市は昭和42年に「緑化都市宣言」をし、「緑化の推進に関する条例」

（通称保存樹条例）が制定されています。緑豊かな環境を確保して行くためです。優れた自然保護政策です。しかし現実には、開発など人為的に、生育環境は悪化していると言われます。・・・後はFORUMで（非会員の方のみ資料代500円徴収させていただきます。）

※事務局：〒486-0825 春日井市中央通り2-9 TEL・FAX0568-82-5973 会長 河地 清

mail address:kawachi-k@mb.ccnw.ne.jp

かすがい市民活動情報サイト：<http://kasugai.genki365.net/>

[ふるさと春日井学検索](#)

